

マイケル・ザレツキー & 柴田千賀子

ボストン交響楽団ヴィオラ奏者

ヴィオラとピアノの夕べ

2025

6月17日(火)

札幌コンサートホール *Kitara*

小ホール

開演 19:00

開場 18:30

全席自由 (税込) ¥4,000

[車椅子席 ¥1,000 ※オフィス・ワンにて取り扱い]

[3月14日発売]

*未就学児の入場はご遠慮ください

piano

柴田千賀子

viola

マイケル・ザレツキー

Program

J.S. バッハ: ヴィオラ・ダ・ガンバ・ソナタ 第3番 短調 BWV1029

シューベルト: アルペジオーネ・ソナタ 短調 D.821

シヨスタコーヴィチ: ヴィオラ・ソナタ op.147

※曲目・曲順は変更になることがありますのでご了承ください。

お問い合わせ

オフィス・ワン 011-612-8696
(平日 10:30~17:00)

- チケット取扱い ●Kitara チケットセンター kitara-sapporo.or.jp 011-520-1234 ●チケットぴあ t.pia.jp (Pコード / 292-829)
- 道新プレイガイド doshin-playguide.jp 0570-00-3871 ●ローソンチケット l-tike.com (Lコード / 11834)
- 市民交流プラザチケットセンター (市民交流プラザ 2階) ●イープラス eplus.jp

主催: エステルハーザー協会 協賛: カムオンHALL 後援: 札幌市、札幌市教育委員会、北海道新聞社、PMFを応援する会、株式会社河合製作所北海道支社、エルム楽器

Profile



マイケル・ザレツキー (ヴィオラ) Michael Zaretsky (Viola)

旧ソ連で生まれる。モスクワコンセルヴァトワール卒、モスクワ・フィルハーモニー四重奏団又、モスクワ放送交響楽団メンバーとして活動を開始。1972年に亡命、イスラエルへ移住しエルサレム放送交響楽団の首席奏者及びラジオイスラエルでのソロ奏者として活躍した。翌年レナード・バーンスタインとの出会いによりタングルウッドへ招かれ、ボストン交響楽団に入団現在に至る。リサイタルや室内楽でも活発な活動を展開し、多くの著名音楽家との共演や、またソリストとしてもメジャーオーケストラと共演している。その傍らボストン大学で教鞭をとるなど、米国はもとより欧州、南米の国々でも様々な音楽活動や教育活動を続けている。これまでにバッハ、ブラームス、シューマン、ヒンデミットの曲などを録音し高い評価を受けている。ライブプロジェクトとして現代曲にも積極的に取り組んでおり、最近ではスピルバーグ映画「スターウォーズ」や「ET」などの音楽を作曲したジョン・

ウィリアムズと活動を共にしており、ウィリアムズ氏はザレツキーのために「ヴァイオリンとヴィオラのためのデュオコンチェルト」をはじめ「ヴィオラ協奏曲」や数多くの作品を書き献呈しておりそれらはボストン交響楽団と共に初演されている。親日家でボストン交響楽団と共に来日する以外にもたびたび日本各地を訪問し日本の音楽家らとの交流共演を行っていることから国内にもファンが多い。ピアニスト柴田千賀子とは1997年以来25年以上の共演を重ねている。2017年には柴田千賀子と共に石巻全壊地区を訪問、チャリティー追悼公演を行なった様子はラジオボストンでドキュメンタリーとして放送され米国内で反響を呼んだ。2025年は東京、横浜、旭川、札幌、大分、仙台での公演が予定されている。



柴田 千賀子 (ピアノ) Chikako Shibata (Piano)

14歳でリスト奨学金を受け英国王立音楽院に学び首席で卒業後、B. カプラン、A. エステルハージー、マリア・クルチョに師事。英国ギルドホール芸術大学教授アシスタント、米国インディアナ大学講師、北海道教育大学非常勤講師を歴任。ダドリーナショナルコンクール(英国)で優勝、その後ニューポート、ハエン、サラゴサ、フィナーレリグレ、エンナ、ベリーニ等数多くの国際コンクールで上位入賞、またエリザベス王妃国際コンクールではセミファイナリストに入賞。その間、国内外の大学にて公開レッスンと講義を行うほか、ヨーロッパを中心に演奏活動、TV・ラジオの出演も多く各国の新聞、専門誌で高評を得る。海外からのソリストや弦楽四重奏団、BBC ウェールズ交響楽団、シティー・オブ・バーミンガム・オーケストラ等海外のオーケストラとの共演も多く邦人作品の海外公演及び海外の作品の日本初演も積極

的に行っている。帰国後サントリーホール、津田ホール、札幌コンサートホール等でソロリサイタルを行う。エステルハージー協会を設立、エステルハージー奏法(リヒテル、ホロヴィッツ、ルプといった素晴らしい演奏家を育て、20世紀最も偉大なピアノ教育者とされるネイガウスの弟子であるエステルハージー氏と共同研究をしてまとめあげたロシア奏法で、脱力、呼吸法を取り入れたピアノ演奏技術)の指導を海外及び国内で行っている。CD「I got Rhythm」と「Le Lorient」は国内外で高い評価を受け海外から共演の指名を受けている。演奏の傍らPMF国際音楽教育祭での司会や通訳を、又STVラジオ番組「オハヨー!クラシック」(2011~2016)ではパーソナリティーを務めるほか震災復興支援に長年携わった縁で東北と海外や国内各地域をむすび、クラシック音楽の普及と若い音楽家の育成と交流をはかる取り組みをプロデュースするなど多岐にわたって活躍している。

公演スケジュール

(曲目はそれぞれの公演で異なります。詳細・ご予約につきましてはエステルハージー協会までお問い合わせください)
エステルハージー協会 newplazma.concert@gmail.com 090-1309-8646 (宮崎)

< 東京 >	6月7日(土)14:00~	東京練馬区・音楽サロン・アシュレイ	03-5387-6503
< 横浜 >	6月8日(日)15:00~	横浜市東戸塚区・Sala MASAKA	090-3504-4379
< 札幌 >	6月17日(火)19:00~	札幌コンサートホール Kitara 小ホール	011-612-8696
< 大分 >	6月21日(土)14:00~	さいき城山桜ホール大ホール	0972-24-2228
< 仙台 >	6月25日(水)19:00~	宮城野区文化センターパトナホール	022-257-1213